

平成25年度埼玉県小・中学校学習状況調査【調査結果】 －蓮田市の結果の概要について－

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

1 調査の概要

- (1) 実施期日 平成25年4月25日(木)
 (2) 対象学年 小学校第5学年 中学校第2学年
 (3) 調査事項

ア ペーパー調査(教科に関する調査)

小学校調査は、国語・社会・算数・理科の4教科

中学校調査は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科

出題範囲は、前学年までに学習した内容となっています。

イ 児童・生徒を対象とした質問紙調査

学習状況等に関する調査で23項目となっています。

2 調査結果の概要

(1) ペーパー調査(教科に関する調査)

全体的傾向	<ul style="list-style-type: none"> 25年度調査の本市の結果は、小学校5年生では内容別正答率が16項目中16項目で、埼玉県の平均正答率を上回り、中学校2年生では内容別正答率が15項目中15項目で、埼玉県の平均正答率を上回っている。
-------	---

【小学校第5学年】(平均正答率 単位%)

教科	内容	県	蓮田市
国語	話すこと・聞くこと	79.3	80.0
	書くこと	68.0	72.0
	読むこと	69.6	72.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.0	83.5
社会	身近な地域や市町村	82.7	86.9
	地域の人々の生産や販売	74.9	77.3
	飲料水・電気等の確保や廃棄物の処理	78.5	83.2
	災害及び事故の防止	87.8	89.6
	地域の人々の生活	81.7	87.3
	県の様子	58.5	65.4

算数	数と計算	79.2	86.0
	量と測定	63.3	68.9
	図形	69.4	76.4
	数量関係	61.4	70.1
理科	物質・エネルギー	64.6	71.6
	生命・地球	70.0	74.1

【考 察】

教科・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p style="text-align: center;">国 語</p> <p>[問題数：23問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p>	<p>○ 語句の意味を正しく理解している。</p> <p>○ 学習した漢字を正しく読むことができる。</p> <p>○ 文章の内容を的確に読むことができる。</p>	<p>● 文の構成（主語・述語）について理解している。</p> <p>● 段落相互の関係を考えて読むことができる。</p>
<p style="text-align: center;">社 会</p> <p>[問題数：23問]</p> <p>□ 県の平均正答率と蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 方位を表す記号の意味を理解している。</p> <p>○ 関係諸機関が相互に連携して緊急に対処する体制をとっていることを理解している。</p> <p>○ 洗濯に関わる道具の移り変わりについて年表に表わすことができる。</p>	<p>● 2つの市の地理的位置関係を八方位で表すことができる。</p> <p>● 47都道府県（岡山県）の名称と位置について理解している。</p>
<p style="text-align: center;">算 数</p> <p>[問題数：26問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 同分母の分数の加法の計算（真分数+真分数）ができる。</p> <p>○ 小数の相対的な大きさについて理解している。</p> <p>○ 小数の加法の計算ができる。</p>	<p>● 面積についての感覚を身に付けている。</p> <p>● 伴って変わる二つの数量の関係を表から見つけ、式を考えることができる。</p>
<p style="text-align: center;">理 科</p> <p>[問題数：21問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の</p>	<p>○ 昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。</p> <p>○ 気温の変化のグラフと天気に関係付けられる。</p> <p>○ 物は、形が変わっても重</p>	<p>● 方位磁針を適切に用いて、太陽の方位を調べることができる。</p> <p>● 虫眼鏡を用いて、正しく植物の観察ができる。</p>

平均正答率は高い。	さは変わらないことを理解している。	
-----------	-------------------	--

【中学校第2学年】（平均正答率 単位%）

教科	内容	県	蓮田市
国語	話すこと・聞くこと	79.7	80.6
	書くこと	59.1	61.0
	読むこと	77.6	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.8	80.0
社会	地理的分野	69.8	74.7
	歴史的分野	39.9	44.8
数学	数と式	70.6	73.1
	図形	60.9	63.1
	関数	68.5	73.8
	資料の活用	57.4	59.8
理科	第1分野	54.5	61.5
	第2分野	57.5	63.8
英語	聞くこと	76.9	82.2
	読むこと	70.0	77.6
	書くこと	53.1	62.1

【考 察】

教科・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>国 語</p> <p>[問題数：22問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p>	<p>○ 漢字を正しく読むことができる。</p> <p>○ 文脈の中で慣用句を正しく使うことができる。</p> <p>○ 集めた材料を分類して整理することができる。</p> <p>○ 登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができる。</p>	<p>● 文章の構成を工夫し、自分の考えを分かりやすく記述できる。</p> <p>● 文脈の中における語句の意味を、展開に即して理解することができる。</p>

<p style="text-align: center;">社 会</p> <p>[問題数：21問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ グラフを適切に読み取り学習課題を設定することができる。</p> <p>○ 人口の変化の様子をグラフから適切に読み取ることができる。</p> <p>○ 人口や工業を調べるための資料を選択することができる。</p>	<p>● 中世の自治的な仕組みの成立を理解している。</p> <p>● 摂関政治の仕組みを系図を活用し、正しく説明している。</p> <p>● 古代から中世の我が国と東アジアとの関係を理解している。</p>
<p style="text-align: center;">数 学</p> <p>[問題数：27問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p>	<p>○ 比例の表について理解している。</p> <p>○ 対称移動について理解し、そのきまりに従って図形を移動することができる。</p> <p>○ 正の数、負の数の加法や減法の計算ができる。</p>	<p>● ヒストグラムや代表値について理解し、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。</p> <p>● おうぎ形の弧の長さを求めることができる。</p> <p>● 文字を用いて数量を式に表すことができる。</p>
<p style="text-align: center;">理 科</p> <p>[問題数：23問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 光合成を行う条件と調べる実験を関連付けてとらえている。</p> <p>○ 光の入射光と反射光の関係について正しく理解している。</p> <p>○ 水溶液中で、溶質の散らばり方を粒子のモデルを用いて適切に示すことができる。</p>	<p>● 種子は胚珠が成長してできることを理解している。</p> <p>● シダ植物とコケ植物の生える場所の違いとからだのつくりの違いを関連づけてとらえている。</p>
<p style="text-align: center;">英 語</p> <p>[問題数：27問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ まとまりのある英語を聞いて、内容を理解することができる。</p> <p>○ 数詞と名詞を聞いて、その内容を正しく理解することができる。</p> <p>○ 説明文を読んで、その内容を正しく理解することができる。</p>	<p>● 与えられた情報に応じて、助動詞を正しく書くことができる。</p> <p>● 疑問詞で始まる疑問文を聞いて、それに適する応答文を選ぶことができる。</p>

(2) 児童・生徒質問紙調査 (県平均と比較して ○良好 △課題)

<p>小学校5年生 全体的傾向</p>	<p>○ほとんどの項目で、県と比べて、良好な結果となっています。 ○よい学習環境の中で、意欲的に生活していることが伺えます。</p>
<p>具体的傾向 県平均と比較して ○良好 △努力したいこと</p>	<p>○学校に行く前に朝食をとっている。 ○近所の人に会ったときは、あいさつをしている。 ○「友達との約束を守っている」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せると、95%以上の結果となっています。 ○学校のきまりを守っている。 ○勉強が好きだ。 ○「勉強は大切だ」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せると、95%以上の結果となっています。 △授業でノートをていねいに書いている。 △家の手伝いをしている。</p>
<p>中学校2年生 全体的傾向</p>	<p>○ほとんどの項目で、県と比べて、良好な結果となっています。 ○よい学習環境の中で、意欲的に生活していることが伺えます。</p>
<p>具体的傾向 県平均と比較して ○良好 △努力したいこと</p>	<p>○学校に持っていくものを、前日か、その日の朝に確かめている。 ○学校に行く前に朝食をとっている。 ○近所の人に会ったときは、あいさつをしている。 ○「友達との約束を守っている」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せると、95%以上の結果となっています。○学校が好きだ。 ○「勉強は大切だ」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せると、90%以上の結果となっています。 △みんなの前で意見をはっきり言える。 △授業でノートをていねいに書いている。 △県平均を超えるものの「勉強が好きだ」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せても、5割程度の結果となっています。</p>

3 今後の予定

<p>市教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校に課題分析表を作成させ、課題解決の具体的な方策を立てさせて、実践・評価を行います。それに対して適宜、指導・助言を行います。 ○各学校が基礎基本の習得や思考力・判断力・表現力等を育成する学習指導の時間が確保できるように教育課程の見直し改善を行います。 ○学校課題に沿った PTA、学校応援団、放課後子ども教室などの活動を実施し、学校の教育活動を支援します。
<p>各小・中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用します。 ○「わかる授業」を実践するために、研修を通して、学習指導法の工夫・改善を行います。学習規律の徹底も図り、どの子ども達成感が味わえる授業を推進します。 ○学校公開や保護者会、学校だより等を活用し、望ましい生活習慣や学習習慣の定着、地域の行事への参加等について、働きかけ、三者の連携による教育を推進します。
<p>家庭・地域社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、子どもの生活習慣を見直し、改善点があれば家庭で、じっくりと話し合うことが重要です。 ○家庭学習を充実させるために、子どもの学習面でのつまずきを把握し、学校と共に家庭学習の習慣化を図ることが大切だと考えます。 ○子どもの躰は家庭で行うことが基本です。「早寝・早起き・朝ご飯」の実践、あいさつ、返事等の基本的な生活習慣、社会生活のルールやマナーを家庭や地域で、責任を持って教えることが求められています。